

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策	具体的事業内容	所管	令和6年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和6年度予算	令和6年度決算	次年度取組
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実							
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進							
(1) 子どものスポーツ活動の推進							
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の推進 親子体力づくり大会	スポーツ振興課	スポーツの日に90組180名定員設定として開催した。参加人数は70組140名だったが、今後も社会情勢を見ながら競技団体と検討していく。	【親子体力づくり大会】 開催日 令和6年10月14日 参加者数 140人	開催委託料 38,500円	開催委託料 38,500円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 少年スポーツ教室	スポーツ振興課	通年開催の少年スポーツ教室(7教室)を開催した(夏期少年スポーツ教室の硬式テニス、バドミントン、バウンスポールは熱中症警戒アラート発令のため中止)。参加者数は、令和5年度と比べ691人程度減少した。近年夏場の気温がかなり高くなっているため、開催時期等を検討するとともに、子どもが安全にスポーツ活動へ参加できる機会を拡充していくことを念頭に、新規種目を増やすなどの魅力向上を図っていく。	【少年スポーツ教室】 参加者数 12,601人 (内訳) 柔道 1,237人 剣道 2,633人 陸上競技 153人 ミニバス 390人 体操 311人 ラグビー 1,266人 ハンドボール 6,505人 夏期教室(ゴルフ) 22人 夏期教室(空手道) 32人 夏期教室(ボクシング) 17人 夏期教室(バウンスポール) 0人(中止) 夏期教室(硬式テニス) 0人(中止) 夏期教室(バドミントン) 0人(中止) 夏期教室(ダンススポーツ) 35人	開催委託料 464,500円 (内訳) 柔道 80,000円 剣道 80,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 ラグビー 48,000円 ハンドボール 48,000円 ・夏期教室 ゴルフ 4,500円 空手道 18,000円 ボクシング 6,000円 バドミントン 18,000円 硬式テニス 18,000円	開催委託料 427,000円 (内訳) 柔道 80,000円 剣道 80,000円 陸上競技 48,000円 ミニバス 48,000円 体操 48,000円 ラグビー 48,000円 ハンドボール 48,000円 ・夏期教室 ゴルフ 3,000円 空手道 18,000円 ボクシング 6,000円 バドミントン 0円(中止) 硬式テニス 0円(中止)	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 小学生を対象とする各種大会	スポーツ振興課	小学生を対象とした少年野球大会、バレーボール大会及びスポーツ少年団交流大会の3大会を開催した。3大会とも競技人口の減少等に伴い、昨年度よりも参加者数が減少している状況である。今後も社会情勢を見ながら競技団体と連携した取組みを進め、多くの小学生に実戦経験や競技を通じた交流の場を提供していく。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 544人 (内訳) 少年野球大会 14チーム 245人 小学生バレーボール大会 26チーム268人 スポーツ少年団交流大会 31人	開催委託料 75,500円 (内訳) 少年野球大会 50,000円 小学生バレーボール大会 15,500円 スポーツ少年団交流大会 10,000円	開催委託料 75,500円 (内訳) 少年野球大会 50,000円 小学生バレーボール大会 15,500円 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 スポーツ少年団運営事業	スポーツ振興課	各スポーツ少年団の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催した。また、競技別交流大会(軟式野球)を開催したほか、県西部医師会や鳥取大学医学部附属病院と連携して「野球ひじ」の検診を開催し、青少年の健全育成を図った。交流大会の参加者数は減少傾向にあり、多くの団員が競技種目の垣根を越えて交流できるよう企画の工夫が必要である。引き続き、子どもたちがスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいく。	【スポーツ少年団交流大会】 開催日 令和6年5月26日 参加者数 31人 【市競技別交流大会】 軟式野球 8チーム 野球ひじの検診 224人	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	開催委託料 スポーツ少年団交流大会 10,000円	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実 運動部活動推進事業	学校教育課	【配置校】 東山中…女子卓球部 福生中…男女バドミントン部、女子バスケットボール部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、女子卓球部 弓ヶ浜中…男女剣道部 加茂中…男女剣道部、女子バレーボール部、男女バスケットボール部 【成果】 外部指導者を活用することにより、より専門的な指導が可能になった。	実施校 5校 部活数 9	1,052,000円 (内訳) 報酬1,000,000円 (100,000×10人) 旅費33,000円 保険19,000円	831,745円 ※補助金事業(県と市町で1/2ずつ負担)	補助金事業(県と市町で1/2)で継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和6年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和6年度予算	令和6年度決算	次年度取組
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(2) 成年期からのスポーツ活動の推進								
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ポッチャ大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民のだれもが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	市民レガッタについては、今年も全国から参加者を募集した結果、参加者数が約50人増えている。その他の大会については、前年度に引き続きポッチャ、インディアカ、マラソンとスキーを実施し、全体の参加者は前年と比べ大幅(約200人)に増加した。ポッチャについては当課で行っている器具の貸し出し31件の実績があり、誰でも気軽に楽しめるスポーツとして徐々に浸透してきている。今後も競技団体と連携し、生涯スポーツの推進を図っていく。	参加者数 1,260人 (内訳) 市民レガッタ 287人 ポッチャ交流大会 104人 正月マラソン 763人 インディアカ大会 60人 市民スキー大会 46人	開催委託料 83,000円 (内訳) 市民レガッタ19,000円 ポッチャ交流大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	開催委託料 83,000円 (内訳) 市民レガッタ19,000円 ポッチャ交流大会 9,000円 正月マラソン 19,000円 市民スキー大会 36,000円	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	バドミントン競技については参加団体が集まらなかったため例年より1大会少ない7大会を実施した。参加チーム数、参加者数が減少している大会もあるが、参加要項の見直し、年齢制限等の出場資格の緩和や1地区あたりの参加チーム数の枠を広げるなど競技団体と協議するとともに、年間競技予定を市役所ホームページ上に公開し、周知すること参加者の増加につなげていく。	参加チーム 86チーム 参加者数 858人 (内訳) ソフトボール 6チーム(131人) 卓球 5チーム(70人) 野球 6チーム(130人) バレーボール 9チーム(114人) ソフトテニス 8チーム(102人) グラウンド・ゴルフ 44チーム(266人) ゲートボール 8チーム(45人)	開催委託料 284,000円 (内訳) ソフトボール 58,100円 卓球 24,900円 野球 37,700円 バドミントン 42,200円 バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 ゲートボール 34,200円	開催委託料 241,800円 (内訳) ソフトボール 58,100円 卓球 24,900円 野球 37,700円 バドミントン 0円(中止) バレーボール 50,900円 ソフトテニス 16,300円 グラウンド・ゴルフ 19,700円 ゲートボール 34,200円	継続
I-1-(2)	体づくり歩け歩け大会・体カテスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体カテスト会を実施します。スポーツや体づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体づくり歩け歩け大会】 令和6年度は11回実施した(2月は大雪のため中止)。今後も継続して実施するとともに、熱中症警戒アラートや気象状況(大雨・暴風・大雪警報)等による安全性に配慮しながら、気軽にウォーキングに親しめる機会を提供していく。 【体カテスト会】 令和6年度は前期・後期とも実施し、延べ55人の参加があった。今後も継続して実施し、市民が気軽に自身の体力年齢を確認し、運動習慣を見直すことができる機会を提供していく。	【体づくり歩け歩け大会】 実施回数 11回 参加者数 延べ496人 【体カテスト会】 前期 26人 後期 29人	【体づくり歩け歩け大会】 84,360円 (内訳) 旅費 72,360円 施設使用料 12,000円 【体カテスト会】 開催委託料 24,000円	【体づくり歩け歩け大会】 73,710円 (内訳) 旅費 72,360円 施設使用料 1,350円 【体カテスト会】 開催委託料 24,000円	継続
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(3) 高齢者のスポーツ活動の推進								
I-1-(3)	がいなみっく予防トレーニング(通所型運動機能向上事業)	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課					令和4年度終了
I-1-(3)	フレイル予防実践教室	プレフレイル又はフレイルに該当した65歳以上の方を対象にフレイル状態の改善及び進行の予防を目的に3ヶ月間、週1回の教室を実施します。本事業を通して、フレイル予防活動の重要性の理解や日常生活における予防活動への意識付けを行うことにより、健康寿命の延伸を図ります。	フレイル対策推進課	参加者の年代は、75歳～84歳までの方の利用が多い傾向である。フレイル度チェックの前後点数変化は、改善又は維持は7割であった。また測定結果では、5回椅子立ち上がり・食品多様性スコア・オーラルフレイルの項目において、改善または維持の割合が7割を超えていた。今後も、フレイル該当者の教室参加を積極的に促すよう努めていく。	教室参加人数 213人 教室参加延べ人数 2,168人 移動支援利用人数 94人 移動支援利用延べ人数 922人	補助金 教室 4,550,000円 移動支援 1,625,000円	補助金 教室 1,642,900円 移動支援 513,000円	継続
I-1-(3)	ふらっと運動体操(通所型運動機能向上事業)	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課	各々のペースで、運動する雰囲気や定着している。また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりに繋がっている。令和5年度から、フレイル予防拠点に加え市内29公民館において、教室の様子をオンラインで繋ぎ、リモート会場として展開。各公民館年間6回以上の開場を目標に行った。	①フレイル予防拠点及び公民館開催分 【ふらっと、運動体験!!】 参加者数 延べ4,575人 実施回数 144回 【リモート運動体験】 ・フレイル予防拠点間 参加者数 延べ2,335人 実施回数 144回 ・市内29公民館 参加者数 延べ3,260人 実施回数 437回 ②米子サン・アビリティーズ開催分 参加者数 延べ928人 実施回数 27回	①フレイル予防拠点及び公民館開催分 ・フレイル予防拠点(3か所)分 委託料 22,074,000円 ・リモート開催分 報償費226,000円 委託料1,398,000円 ②米子サン・アビリティーズ開催分 委託料 890,000円	①フレイル予防拠点及び公民館開催分 ・フレイル予防拠点(3か所)分 委託料 21,123,465円 ・リモート開催分 報償費39,000円 委託料1,335,510円 ②米子サン・アビリティーズ開催分 委託料677,799円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和6年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和6年度予算	令和6年度決算	次年度取組
I-1-(3)	よなGO!GO!体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなくなった関節や筋肉を動かす体操です。よなGOGO体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	フレイル対策推進課	普及事業としては終了し、現在各地のサロン等で実施されている。(Ⅱ-1 米子市健康づくり地域サポーター養成事業に移行) また、よなGOGO体操の他、地域医療介護の各生活場面で一貫して実践できることを目的に考案したネバーギブアップトレーニング(通称ネギトレ)の普及に努めている。ネギトレは本市が鳥大病院、社会福祉法人こうほうえんと協同して作成したトレーニング集である。				継続
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進								
(4) 障がい者のスポーツ活動の推進								
I-1-(4)	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	例年通り、さわやか車いすマラソン大会、アクアスロン皆生大会、手をつなぐスポーツ祭を開催することができた。	【さわやか車いすマラソン大会】 開催日 令和6年9月7・8日 参加者数 選手728人、関係者450人 【手をつなぐスポーツ祭り】 開催日 令和6年11月30日 参加者数 選手199人、保護者・引率92人、関係者107人 【アクアスロン皆生大会】 開催日 令和6年10月14日 参加者数 選手84人、ボランティア224人	【さわやか車いすマラソン大会】 70,000円(補助金) 【手をつなぐスポーツ祭り】 65,000円(補助金) 【アクアスロン皆生大会】 100,000円(補助金)	【さわやか車いすマラソン大会】 67,993円(補助金) 【手をつなぐスポーツ祭り】 115,000円(補助金) 【アクアスロン皆生大会】 100,000円(補助金)	継続
I-1-(4)	各種スポーツ・体操講座(障がい者福祉施設管理運営事業)	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、3B体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人とない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフやポッチャ、サウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、風船バレーボール等のスポーツを行った。	グラウンドゴルフ 13回 ポッチャ 36回 サウンドテーブルテニス 24回 車いすバスケットボール 41回 風船バレーボール 21回 車いすアーチェリー 45回	指定管理料(自主事業費) 1,400,000円の一部	指定管理料 289,242円(内訳) グラウンドゴルフ 0円 ポッチャ 0円 サウンドテーブルテニス 200,448円 車いすバスケットボール 34,241円 風船バレーボール 31,500円 車いすアーチェリー 25,053円	継続
I-1-(4)	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	5月には米子サン・アビリティーズにて、バグーとラダーゲッターの体験を実施した。 7月には明道公民館にて県立米子南高校eスポーツ部の顧問と部員によるeスポーツ体験を実施。 【参考】 バグー…穴の空いたボードに玉を入れて得点を競う玉入れゲーム ラダーゲッター…ひもでつながった2個のボールをラダー(はしご)めがけて投げ、引っかかった得点を競うゲーム	【バグーとラダーゲッターの体験】 開催日 令和6年5月16日 参加者数 13人(うちボランティア5人) 【eスポーツ体験】 開催日 令和6年7月22日 参加者数 8人(うちボランティア3人)	0円	0円	継続
2 誰もが親しみやすいスポーツ活動の推進								
I-2	ユニバーサルスポーツ普及事業	各競技団体と連携し、風船バレー、スポーツ吹き矢、スポーツチャンバラ、ポッチャ、ウォーキングサッカー等を公民館で実施することで、生涯スポーツの推進やスポーツを通じた地域住民の交流を図ります。	スポーツ振興課	ポッチャ教室では8公民館(永江、大和、尚徳、義方、啓成、和田、彦名、就将)から申し込みがあり実施した。 健康ボクシングは、3公民館(河崎、福米西、和田)から申し込みがあり実施した。 また令和6年度から実施種目にスポーツ吹き矢には1公民館(大和)から申し込みがあり実施した。 今後も、競技団体との連携しながら、ユニバーサルスポーツの普及と公民館でのスポーツを通じた交流を図っていく。	【ポッチャ教室】 8回実施 延参加者数 292人 【健康ボクシング教室】 3回実施 延参加者数 28人 【スポーツ吹き矢】 1回実施 延参加者数 11人	委託料 60,000円 (5,000円×12回)	【ポッチャ教室】 委託料 40,000円 (5,000円×8回) 【健康ボクシング教室】 委託料 15,000円 (5,000円×3回) 【スポーツ吹き矢】 委託料 5,000円 (5,000円×1回)	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和6年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和6年度予算	令和6年度決算	次年度取組
基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興								
1 地域のスポーツ活動の推進								
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【スポーツ推進委員協議会】 令和6年度は体力づくり歩け歩け大会、体カテスト会、ポッチャ交流大会及び機関紙の発行等、計画していた全ての事業を実施することができ、市民が気軽にスポーツに親しむことができる機会を創出することができた。 また、スポーツ推進委員を対象としたニュースポーツ講習会(モルック、前後期の2回)及び運動前後の正しいストレッチ研修を実施し、生涯スポーツの推進に向けて必要な知識や技能の習得を図った。 今後もスポーツ推進委員協議会の運営を通じ、生涯スポーツの推進を図っていく。	【ポッチャ交流大会】 参加者数 104人 【ニュースポーツ講習会(モルック)】 前期 31人 後期 30人 【運動前後の正しいストレッチ研修】 参加者数 28人	スポーツ推進委員協議会運営費(委員報酬) 2,172,500円 補助金(全国スポーツ推進委員研究協議会旅費) 97,700円 ポッチャ交流大会開催委託料 9,000円	スポーツ推進委員協議会運営費(委員報酬) 2,140,418円 補助金(全国スポーツ推進委員研究協議会旅費) 84,420円 ポッチャ交流大会開催委託料 9,000円	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	こども施設課	学校運営に支障のない範囲で学校体育施設を地域に開放した。 また、令和5年度に施設予約システム及び遠隔鍵管理システムを導入し、令和6年3月よりシステムの試験運用を開始していたが、同年7月より本格運用へ移行した。	【利用実績】 小学校 19,654件、449,591人 中学校 2,907件、46,944人 【学校当たり平均実績】 小学校(23校) 854件、19,547人 中学校(11校) 264件、4,267人	【消耗品費】 小学校 670,000円 中学校 152,000円 【修繕料】 小学校 600,000円 中学校 500,000円 【手数料】 小学校 84,000円 中学校 45,000円 【委託料】 小学校 149,000円 中学校 72,000円 【使用料及び賃借料】 小学校 3,420,000円 中学校 1,636,000円	【消耗品費】 小学校 662,118円 中学校 110,404円 【修繕料】 小学校 412,500円 中学校 222,200円 【手数料】 小学校 45,746円 中学校 27,062円 【委託料】 小学校 148,824円 中学校 71,176円 【使用料及び賃借料】 小学校 3,402,944円 中学校 1,630,656円	継続
Ⅱ-1	やって未来や塾(米子市地域健康づくり応援事業)	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	フレイル対策推進課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 年3回運動等の内容についての支援を行った。 新規の立ち上げは3か所であった。	【新規活動支援】 3か所、29回 参加者数 延べ422人 【継続活動支援】 31か所、91回 参加者数 延べ999人	委託料 830,000円	委託料 751,000円	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をしたい方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめて、地域での健康づくりを目指します。	フレイル対策推進課	地域サポート講座基礎編を実施した。米子市のフレイル予防の取り組みについての講座や地域で楽しくできるフレイル予防の体操や体験の実技を行った。 サポーターの平均年齢が高くなっており、若いサポーターの確保とともに、サポーターの役割を再構築し、新規のサポーターを育成できるよう体制を整える必要がある。	【基礎編】 1回 参加者数 54人	245,999円 (内訳) 報償費 46,800円 消耗品費 103,000円 燃料費 14,344円 印刷製本費 2,255円 通信運搬費 79,600円	148,646円 (内訳) 消耗品費 73,877円 燃料費 14,344円 通信運搬費 60,425円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和6年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和6年度予算	令和6年度決算	次年度取組
2 スポーツに触れる機会の提供・スポーツツーリズムの推進								
II-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ振興課	ガイナレ鳥取ホームタウンデーでボルダリング、リズムダンス、ポッチャなど誰でも楽しく体を動かせるイベントを開催し、親子連れを中心にファン層の拡大に努めた。	【ガイナレホームタウンデーイベント】 開催日 令和6年10月13日	消耗品費67,000円	消耗品費 42,101円	継続
II-2	全日本トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年4,000名を超えるボランティアが参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	全国から1,146人の選手が参加した。大会当日は降雨で気温の上昇が抑えられたこともあり、個人の完走率が前年比で大きく向上した(R5:67%→81%)。皆生トライアスロン協会と連携しながら、熱中症対策の強化や新規参加者への門戸開放など、今後も大会を維持し、安全・安心な形で開催できる方策を検討していく必要がある。	【全日本トライアスロン皆生大会】 参加選手 1,146人	委託料 10,000,000円	委託料 10,000,000円	継続
II-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントで平成27年には200名以上の方が参加しています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	当初の計画どおり開催した。本イベントは、この地域を代表するスポーツツーリズムの大会であり、地域振興に資するものであることから、モンベル、鳥取県、大山町及び日吉津村と連携を図り、今後の継続開催に向けて準備を進めていく。	【皆生・大山SEA TO SUMMIT2024】 参加者数 130人	事業運営負担金 300,000円	事業運営負担金 300,000円	継続
II-2	サイクルスポーツ推進事業	大山山麓・日野川流域観光推進協議会及び近隣市町村等と連携し弓ヶ浜サイクリングコースを活用した魅力発信事業を展開します。また、観光誘客向けのガイド育成やハード整備等に力を注ぐことによりナショナルサイクルルート認定に向けた取組を推進すると共に、サイクルスポーツを通じた地域の活性化を図ります。	観光課	「大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業」の中で、サイクリスト聖地化事業を実施し、外国人観光客を迎えるための「おもてなしセミナー」の開催、インバウンドツアーの造成など、誘客促進につながる取組を実施した。また、「サイクリングしまなみ2024」にてブース出展し、県外のサイクリスト、事業者との交流及び周知活動を行い、県外からの誘客促進を図った。さらに、日吉津村と連携し、YONAGOサイクルカーニバルin YODOE2024の開催支援を行うことで、圏域内の機運醸成と魅力発信を行った。	【大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業】 「おもてなしセミナー」 主催 大山時間との連携事業 開催日 令和7年1月17日 参加者数 29人 【「サイクリングしまなみ2024」でのPR】 実施日 令和6年10月26・27日 参加者数 3,500人 【YONAGO サイクルカーニバル in YODOE 2024】 主催 米子日吉津商工会 開催日 令和6年9月8日 参加者数 約255人	【大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業】 負担金 1,350,000円 【YONAGO サイクルカーニバル in YODOE 2024】 負担金 500,000円	【大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業】 負担金 1,290,000円 【YONAGO サイクルカーニバル in YODOE 2024】 負担金 500,000円	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和6年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	令和6年度予算	令和6年度決算	次年度取組
基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実								
1 競技力の向上								
Ⅲ-1	スポーツ協会運営事業	米子市スポーツ協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	米子市スポーツ協会として、以下の事業を実施した。 ・10種目のスポーツ教室、5種目のスポーツ大会、7種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 1,375人 【スポーツ表彰事業】 個人 158人 団体 38団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 個人 31人 団体 7団体	米子市スポーツ協会補助金 72,000円 市民体育祭委託料 284,000円 市主催大会・教室委託料 675,000円	米子市スポーツ協会補助金 72,000円 市民体育祭委託料 241,800円 市主催大会・教室委託料 639,000円	継続
2 スポーツ施設等の充実								
Ⅲ-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所および老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ振興課	【米子アリーナ】 令和5年度に締結した契約に基づき、市民体育館の解体作業に着手し概ね作業を完了するとともに、整備に向けて基本設計をまとめ、実施設計を進めた。 また、米子アリーナ用の非常用発電設備及び当該設備の保管場所としても活用する防災備蓄倉庫の基本設計業務を実施した。 【市民球場】 令和5年度の設計に基づき、スコアボード、放送設備、施設照明LED化等の改修工事を実施した。 【東山球技場】 会議室の空調設備設置工事を実施した。 【東山公園】 園路の排水設備強化に向けた設計業務を実施した。 【淀江体育館】 館内の非常照明のLED化改修工事を実施した。	【米子アリーナ】 ・PFI事業者選定アドバイザー業務委託 ・新体育館整備等事業委託 ・非常用発電設備・防災備蓄倉庫整備基本設計業務 【市民球場】 改修工事全8件 【東山球技場】 空調設備設置工事 【東山公園】 排水設備整備工事実施設計業務 【淀江体育館】 非常用照明器具改修工事	【米子アリーナ】 ・PFI事業者選定アドバイザー業務委託 1,958,000円 ・新体育館整備等事業委託 626,239,109円 ・非常用発電設備・防災備蓄倉庫整備基本設計業務 9,673,000円 【市民球場】 スコアボード、放送設備、施設照明LED化等の改修工事(8件) 740,000,000円 【東山球技場】 空調設備設置工事 4,400,000円 【東山公園】 排水設備整備工事実施設計業務 24,500,000円 【淀江体育館】 非常用照明器具改修工事 8,700,000円	【米子アリーナ】 ・PFI事業者選定アドバイザー業務委託 1,958,000円 ・新体育館整備等事業委託 626,239,109円 ・非常用発電設備・防災備蓄倉庫整備基本設計業務 8,899,000円 【市民球場】 スコアボード、放送設備、施設照明LED化等の改修工事(8件) 715,471,900円 【東山球技場】 空調設備設置工事 3,073,400円 【東山公園】 排水設備整備工事実施設計業務 24,433,200円 【淀江体育館】 非常用照明器具改修工事 3,795,000円	継続
3 心身の安全・安心の確保								
Ⅲ-3	スポーツ協会運営事業(再掲) スポーツ少年団運営事業(再掲)	各競技団体や県スポーツ協会、各学校と連携し、指導者の育成を行い、スポーツ実施者にとって安全・安心なスポーツ環境の提供を図ります。	スポーツ振興課	県西部のスポーツ少年団指導者を対象に、「成長期・思春期女子に必要な選手サポート」と題して、鳥取大学医学部附属病院女性診療科の佐藤先生を講師に迎え、思春期の女性アスリートの変化及び成長期・思春期女子のサポートについて講演を行った。	開催日 令和7年2月1日 参加者数 37人(うち市内22人)	西部地区指導者研修会 50,000円 ※県スポーツ協会からの助成	西部地区指導者研修会 49,476円	継続

《参考資料》

基本方針 I-1-(1) 子どものスポーツ活動の推進

【親子体づくり大会】

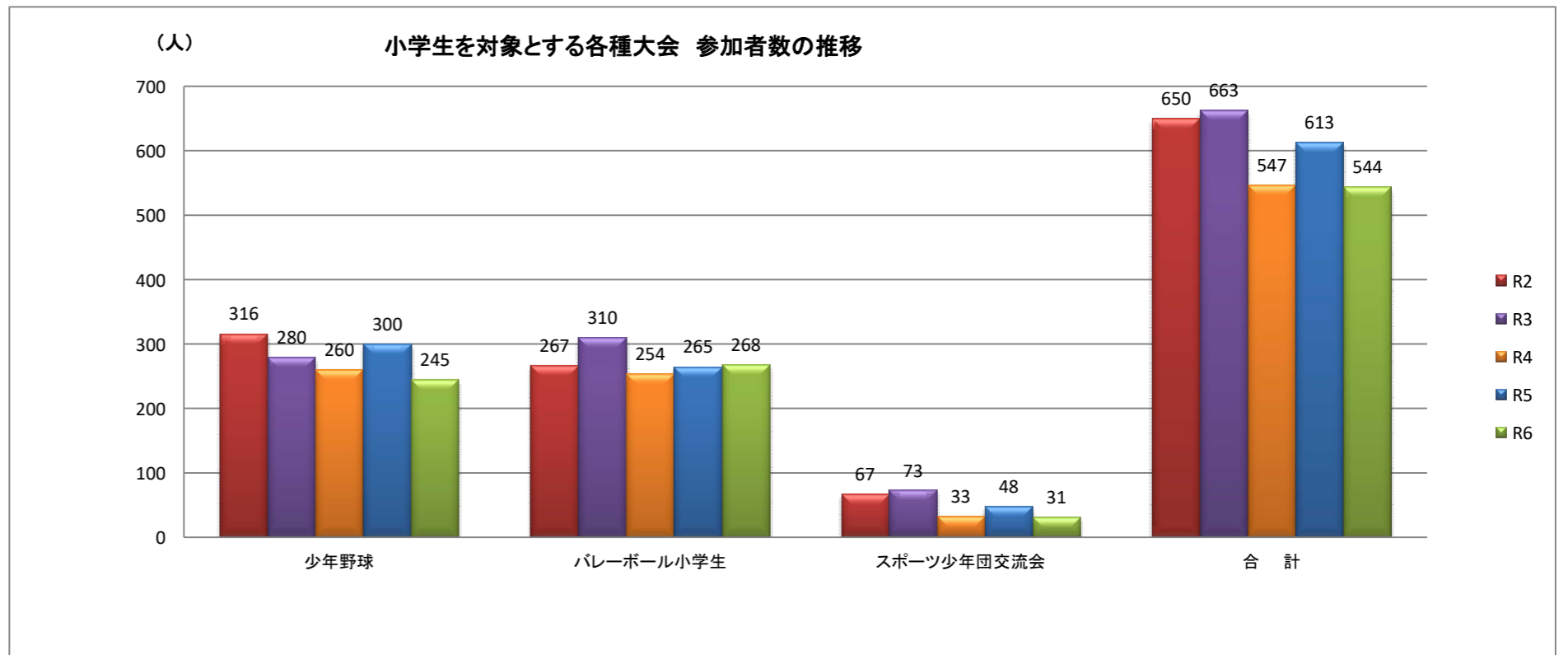
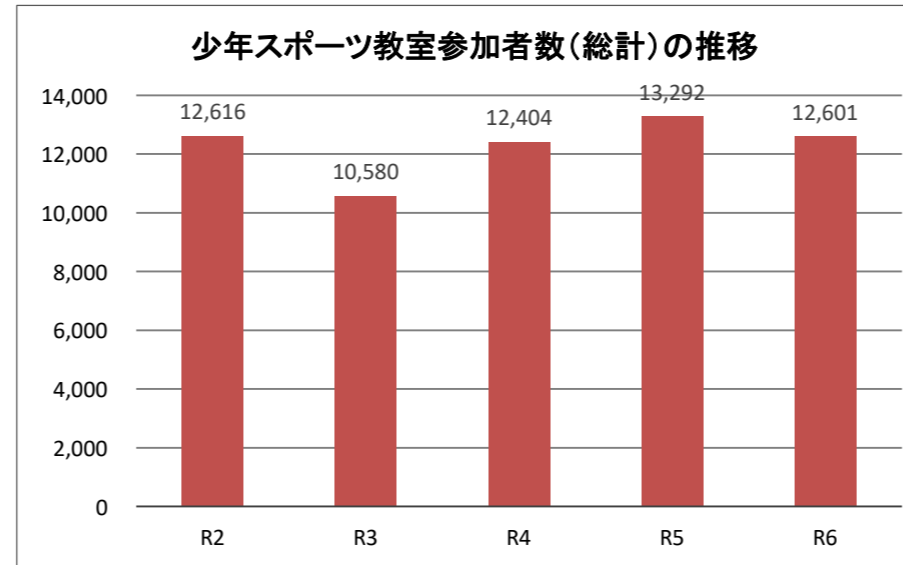
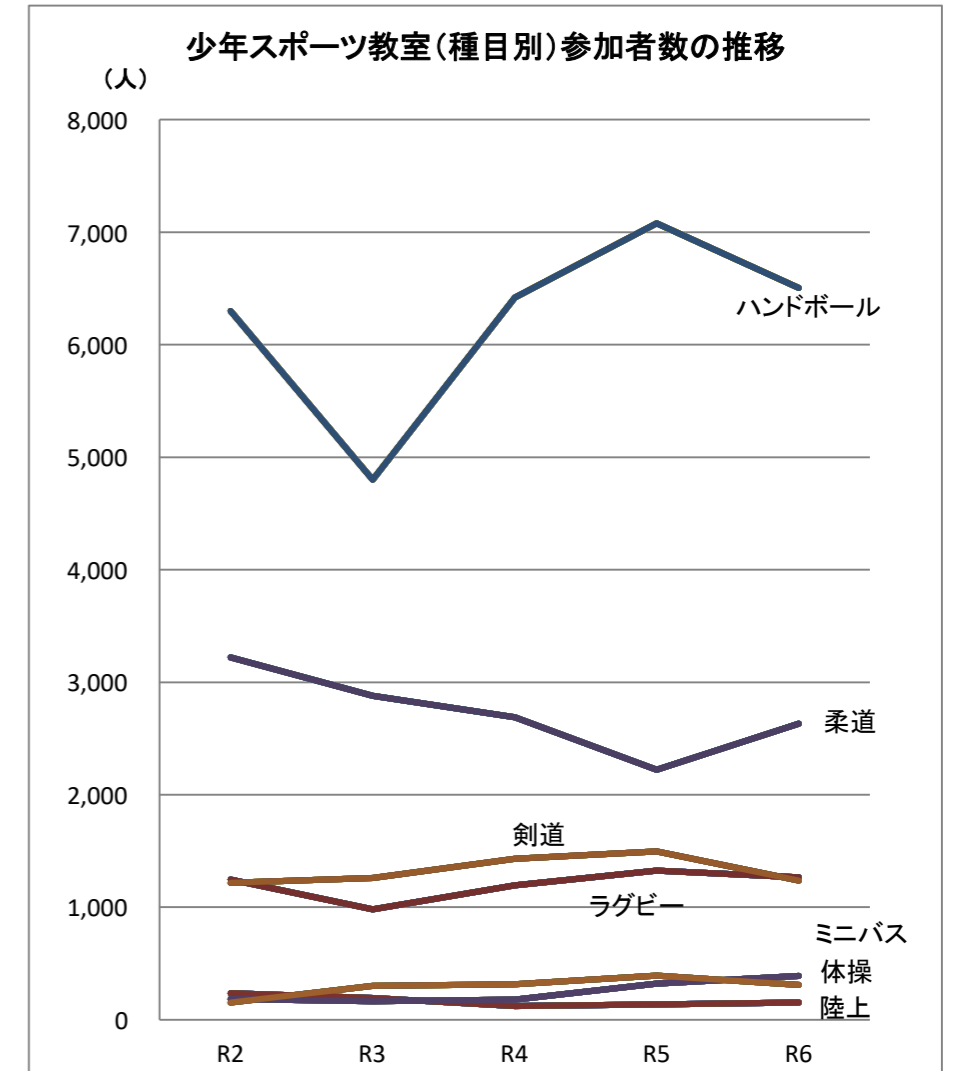
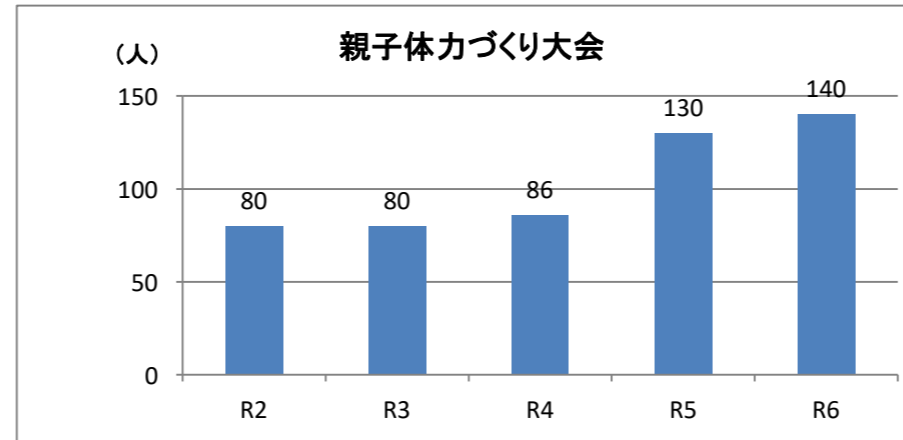
種目	区分	R2	R3	R4	R5	R6
親子体づくり大会	子ども	40	40	43	65	70
	親	40	40	43	65	70
	計	80	80	86	130	140

【少年スポーツ教室】

種目	区分	R2	R3	R4	R5	R6
ラグビー	回数	33	29	64	69	76
	人数	1,247	981	1,195	1,327	1,266
柔道	回数	128	126	141	139	137
	人数	3,220	2,880	2,689	2,221	2,633
剣道	回数	120	117	132	125	125
	人数	1,218	1,260	1,430	1,496	1,237
ハンドボール	回数	126	154	162	177	162
	人数	6,300	4,800	6,420	7,080	6,505
陸上	回数	8	6	6	7	7
	人数	237	194	122	136	153
ミニバスケットボール	回数	9	7	7	9	10
	人数	184	165	180	322	390
体操	回数	7	7	11	10	10
	人数	154	300	315	393	311
テニス	回数	1	中止	中止	1	中止
	人数	34	中止	中止	39	中止
バドミントン	回数	中止	中止	中止	3	中止
	人数	中止	中止	中止	94	中止
空手道	回数	3	中止	2	2	2
	人数	22	中止	17	32	32
ダンススポーツ (R4~)	回数			中止	3	3
	人数			中止	36	35
バウンズボール (R4~)	回数			中止	4	中止
	人数			中止	44	中止
ゴルフ(R4~)	回数			1	1	1
	人数			23	33	22
ボクシング (R4~)	回数			4	4	2
	人数			13	39	17
合計	回数	432	446	528	549	530
	人数	12,616	10,580	12,404	13,292	12,601

【小学生を対象とする各種大会の開催】

種目	区分	R2	R3	R4	R5	R6
少年野球	チーム数	21	18	16	14	14
	人数	316	280	260	300	245
バレーボール小学生	チーム数	29	28	24	25	26
	人数	267	310	254	265	268
スポーツ少年団交流会	人数	67	73	33	48	31
合計	チーム数	50	46	40	39	40
	人数	650	663	547	613	544



《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(2) 成年期からのスポーツ活動の推進

【各種スポーツ大会】

種目	区分	R2	R3	R4	R5	R6
市民レガッタ	チーム数		8	33	48	46
	人数		50	200	238	287
インディアカ	チーム数	12	12	8	10	12
	人数	68	68	41	50	60
ドッチビー大会(～H30) ポッチャ(R1～)	チーム数		30	21	26	28
	人数		116	78	100	104
正月マラソン	人数					
スキー	人数	89		39	42	46
	チーム数	12	50	62	84	86
合計	人数	157	234	668	1,071	1,260

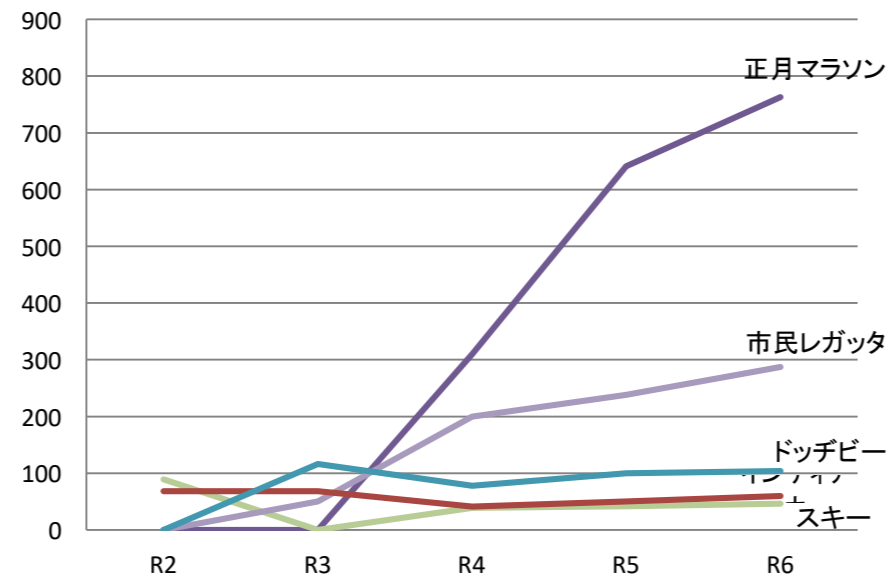
【体づくり歩け歩け大会・体カテスト会】

種目	区分	R2	R3	R4	R5	R6
体カテスト会	回数			2	2	2
	人数			73	105	55
体づくり歩け歩け大会	回数	4	8	12	12	11
	人数	123	270	502	551	496
合計	人数	123	270	575	656	551

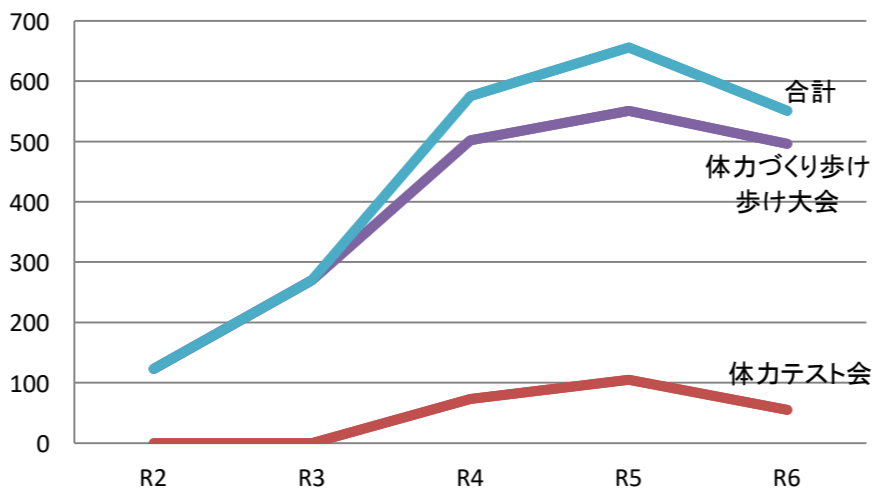
【市民体育祭】

種目	区分	R2	R3	R4	R5	R6
ソフトボール	チーム数		4	6	6	6
	人数		56	70	120	131
卓球	チーム数		6	7	7	5
	人数		63	70	78	70
バドミントン	チーム数	7	6	4	4	
	人数	47	42	35	26	
バレーボール	チーム数		9		9	9
	人数		128		109	114
ソフトテニス	チーム数		5	5	4	8
	人数		72	81	92	102
グラウンドゴルフ	チーム数		57	51	50	44
	人数		317	295	283	266
野球	チーム数	6		4	5	6
	人数	115		44	60	130
ゲートボール	チーム数		10	10	8	8
	人数		57	60	39	45
合計	チーム数	13	97	87	93	86
	人数	162	735	655	807	858

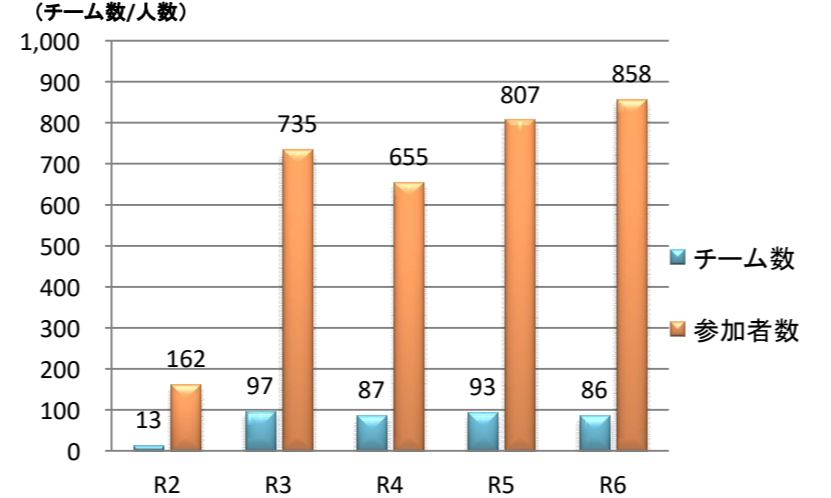
(人数) 各種スポーツ大会参加者数の推移(種目別)



(人数) スポーツイベント参加者数の推移



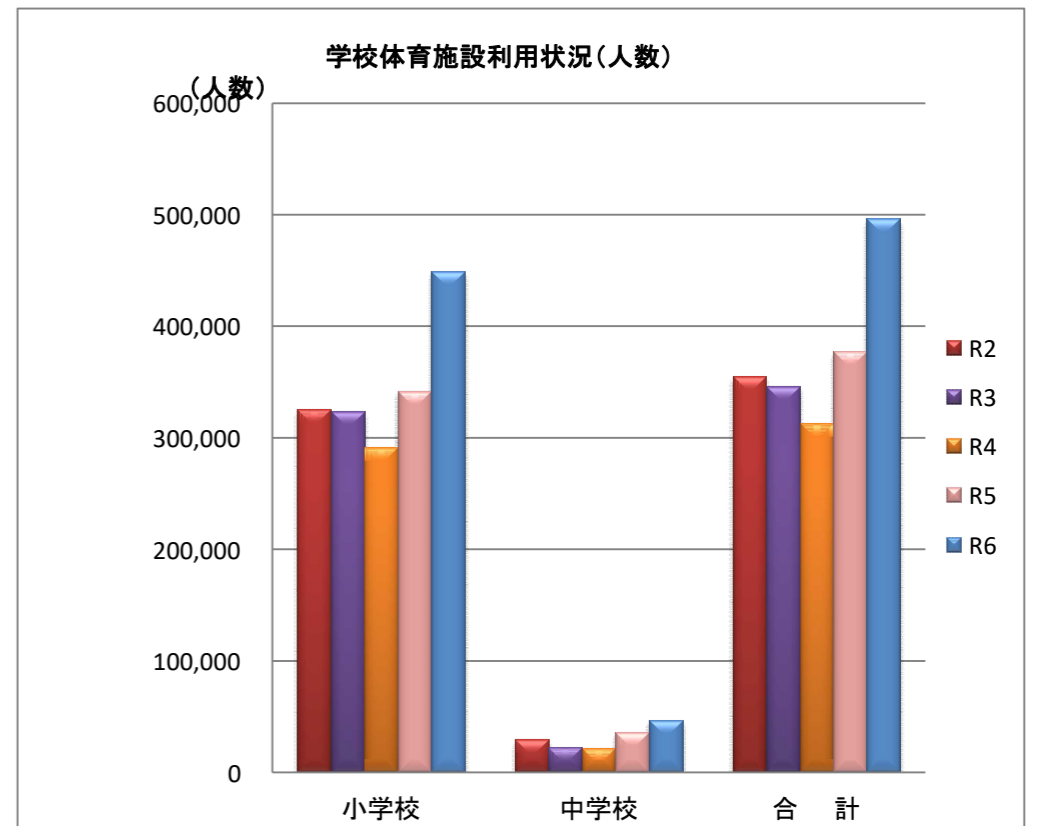
(チーム数/人数) 市民体育祭参加者・チーム数の推移(総計)



基本方針Ⅱ-1 地域のスポーツ活動の推進

【学校体育施設開放事業】

種目	区分	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	チーム数	15,517	14,550	13,419	14,494	19,654
	人数	325,790	323,165	291,054	341,548	449,591
中学校	チーム数	2,035	1,636	1,657	2,156	2,907
	人数	29,216	22,870	21,892	36,027	46,944
合計	チーム数	17,552	16,186	15,076	16,650	22,561
	人数	355,006	346,035	312,946	377,575	496,535



基本方針Ⅲ-1 競技力の向上

【体育協会運営事業/体育表彰】

受賞名	種別	R2	R3	R4	R5	R6
体育功労賞	個人	7	7	7	5	6
優秀指導者賞	個人	4	2	4	1	1
スポーツ栄誉賞	個人	7	2	5	5	6
スポーツ特別賞	個人	2	2	1	3	0
スポーツ賞	個人	42	8	42	59	58
スポーツ賞	団体	13	3	13	8	14
スポーツ奨励賞	個人	113	61	64	81	87
スポーツ奨励賞	団体	45	12	30	29	24
合計	個人	175	82	123	154	158
	団体	58	15	43	37	38